秀賞の後藤さん

相高 第 46 生フ オ I ラム

賞が2年5組室井心花さんの ること等幅広く取り上げられ、真 ざ発表の場面になると、堂々と発 弁論大会です。弁士の皆さんから ラムとは、本校が開校してから続 ラムが開催されました。相高生フォー 生徒もそうでない生徒も終わった 「『幸せ』とは」でした。入賞した 藤葵さんの「既知への飛躍」、優秀 剣に考えさせられる内容でした。 のことまで、社会で問題になってい 分自身の身近な出来事から、世界 見ることが出来ました。今年も自 表しており、とても頼もしい姿を は、緊張感が感じられましたが、い チを行う、いわゆる人権に関する 表3名計6名が人権に関するスピー 基準弁論者―名と―・2年の各代 結果は、最優秀賞が2年3組後 ・歴史ある行事で、生徒会役員の 月13日(水)、第4回相高生フォー

後には充実感が溢れていました。 学校の西側の通学路、2年生は学 通 生徒会役員は学校周辺と校内、 年生は駅南と北ロータリーから



優秀賞の室井さん

テストも、それぞれが十分に力を 出場した2年3組中川琴未さんが 発揮し、充実感に満ちた顔をして 高生フォーラムも 英語スピーチコン 英語スピーチを披露しました。 いたのが印象的でした。 フォーラム審査の待ち時間に、 -度の英語スピーチコンテストに 相 今 皆様、ありがとうございました。

清 掃

ちを込めて通学路清掃を行いまし 美化と地域の方々への感謝の気持1月13日(水)放課後、通学路の 徒が参加しました。 委員・風紀委員・ボランティアの生 た。生徒会役員と、ー・2年の通学

肌

感謝を込めて、真剣かつ楽しみな がら取り組むことができました。 動ですが、いつも通っている地域に ました。 校から東側の通学路の清掃を行い 学期に一回の時間に限りある活

芸 術 鑑 賞 会

ての生徒も多く、 様による「カーリーの青春~aga 演目は演劇で劇団自由人会の皆 術鑑賞会を実施しました。今年の -n~」を上演していただきました。 演劇を生で鑑賞することが初め 月2日(水)、3年に一度の芸 体育館の中とは

P さわ T A 合 同 やか 挨拶運 街 頭指導 動 &

相生市山手1-722-10 TEL (0791) 23-0800

HPØQR⊐

さわやか挨拶運動を行いました。 層周囲に視野を広げて安全な登 交わしました。通学中にはより一 Aの方と通学する生徒と挨拶を の職員・PTA合同の街頭指導と ご協力いただいたPTA役員の 街頭指導では、学校周辺でPT -校を心がけたいと思います。 日(金)に、今年度2回

きたかと思います。曇り空の少し 微力ながら町の美化活動に貢献で した。挨拶運動前のゴミ拾いでは 「さわやか挨拶運動」を実施しま 生徒会、南側で-年2組の生徒が また、相生駅の北側ロータリーで 寒い天気の

戸大学にて留学生

方々との英語での

12

月10日(火)、神

戸大学で留学生と話そう



が参加しました。グ もの意欲的な生徒 交流会を行い、15名

な国出身の留学生の方々と会話が 国、ルーマニアやパキスタンなど様々 グに苦戦しながらも、アメリカ、中 カッションしました。 互いのことについて、自由にディス 発表・質疑応答をし、その後はお て日本のさまざまな文化について わたる交流会では、留学生に対し ループに分かれての合計2時間に 教科書よりも速い英語のリスニン

感じる図書館などを見て回りま 眺めの良い百年記念館や歴史を した。短時間でしたが、非常に充実 交流会後のキャンパス見学では、

たと思います。

音響や照明など、その迫力に圧倒 いう声も多くありました。 強いメッセージに深く感動したと されました。愛を描いた演目でカ 思えないほどの本格的なセットや ました。 た神戸大学の関係者および留学 したひとときを過ごすことができ

とても良い経験になりました。 の設営や撤収に関われたことが、 人会の皆様、あり いただいた劇団自由 お忙しい中、ご来校 また、部活動の生徒たちは、舞台 が

写真は都合により 掲載できません。 ご了承ください。

> 学校生活の励みに づき、今後の進路や の魅力・楽しさに気

す。この経験によって、

参加した生

生の皆様に心より感謝申し上げま

このような機会を設けていただい

徒が少しでも英語

とうございました。 高大接続推進事業

願っています。 してくれることを

会酸

野球部の部員を対象 ただき、陸上競技部と 栄養士の方にお越しい 素株式会社より管理 12 |月||日(水)、 、味の



冬季で基礎

ドバイスをしていただきました。 グや重要性に関しても、詳しくア 期間に入りました。日々の3食の を実施しました。 ミノ酸コンディショニング講習会」 る良いきっかけになっ 重要性」について考え 日々のトレーニングだ 体力の向上・体づくりをしていく に「『勝ち飯』。食とア けではなく、「食事の ことだけではなく、補食のタイミン シーズンオフに入り、 来シーズンに向けて、